

令和5年1月号

算数・数学チャレンジクラブだより



新雪を踏みしめながら、
学びの跡がくっきりと残る
方法をカンガエル♡

(公財) 金沢子ども科学財団

〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号
Tel: 076(221)2061 Fax: 076(221)2062
e-mail kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp

令和4年度の講座も残りわずかとなりました。何度も押し寄せる新型コロナウイルスの高波に見舞われながらも講座が実施できたのは、クラブ員のために送迎して下さった保護者の方々のご協力のおかげでもあります。本当にありがとうございます。次年度につながる残りの講座になるように気を引き締めて頑張りましょう。

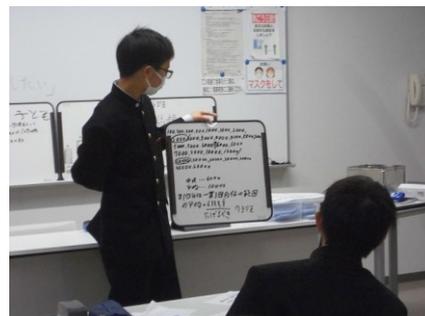
初冬の講座から

① 中学1年生講座「お年玉獲得大作戦」

11月6日(日)に中学1年生の『お年玉獲得大作戦』の講座を開催しました。立場の違うグループに分かれて、相手を説得する資料を作りました。グループは親組(お年玉を与える側)3チームと子ども組(お年玉をもらう側)4チームです。与えられた資料は両チームとも一般的な家庭30軒のお年玉額を示したものです。親組は何とかお年玉を減らそうと妙案を提示し、子ども組は何と



してもたくさんもらおうと理屈をこねる、という戦いです。とは言っても、「最頻値」や「中央値」など、相手を納得させる数学用語や資料の使い方を駆使して戦いました。結果は、各ご家庭のお年玉額におそらく反映することでしょう。



(↑写真左 親組のグループ討議の様子。本音はたくさんお年玉を欲しいのに、親の立場になって考えをまとめる。)
(子ども組の説明の様子。不利を感じつつ説得したため、たくさんの数字を提示した結果論理が混乱する。写真右↑)

② 小学5年生講座「テープの輪」

長さ25cmくらいのテープの両端をくっつけて輪にして、中央線を切っていったら輪が二つになりますね。では、テープを一回ひねってくっつけ中央線を切ったらどうなるでしょう。この輪を十字になるように二つくっつけて切ったら? 三つくっつけたら?... 中央線ではなく三等分になるように切ったら?... 「切る」というのはこの問題の大前提にあります。この講座で大切なのは、『次はどんなふうにくっつけてみようか』と考えること、そして『切ったらこんな風になるのでは』



と予想することです。【自分で課題を見つけ出し、答えを予想してチャレンジする】そんな子どもを育てることに目標がありました。

(←写真左) 輪を切り開くと長方形になった
(←写真右) 有名なメビウスの輪に挑戦。
答えがなぜ二通りになるのか、カンガエル!

今後の予定

今後の講座の予定 (通常の講座時間は 10:00~11:45)

回	月	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
10回 (中学生は9回)	1月	1月21日(土) A組 「秘宝伝」 B組 「立体4目並べ」	1月7日(土) 「三角形の数・四角形の数」	1月8日(日) 中1 「スプラウト」 中2・中3 「折り鶴と数学」	1月15日(日) 1月29日(日)
思考力 検定		2月25日(土) 10:00~第2回思考力検定 【申込者のみの受検となります】 受付: 9時30分~9時45分 説明・諸注意: 9時50分~ 検定開始: 10時 (終了は受検級による)			
11回 (中学生は10回、11回)	2月	2月18日(土) 閉講講座・閉級式 「パズル&謎解き 初級」	2月4日(土) 閉講講座・修了式 「あてっこゲーム」	2月5日(日) 中学生 特別講座 「一筆書きの原理と応用」 2月26日(日) 閉講講座・閉級式・修了式 「モンテホールジレンマに チャレンジ」	2月19日(日) 中3生は修了式

お知らせとお願い

- 令和5年度の「算数・数学チャレンジクラブ」の**継続申込み1月23日必着!!** (12月号にも掲載)
令和5年度の算数・数学チャレンジクラブの正式な申し込みあるいは退会申し込みを財団サイトでを行います。チャレンジクラブは小学校の2年間と中学校の3年間は継続が原則です。金沢子ども科学財団の継続意向調査のサイトは、12月20日(火)より申し込みが可能になります。その日朝9時に申し込みサイトのURLを貼り付けたメールがクラブ員全員に届きます。そこに保護者のメールアドレスを送信してください。すると財団から申し込みフォームが付いたメールが届きます。それを開き説明をよく読み、必要事項を記入して返信してください。1月24日(火)になると、申し込みサイトが閉鎖されますので、継続申込書は継続する人も継続しない人も**中学3年生以外全員送信して提出**してください。一度送信した後に状況が変わって再送信された場合は、古い方の申し込みを削除します。電話やFax、個人メールでの申し込みはできません。
- 「算数オリンピック支援講座」は、チャレンジクラブ員の中で高いレベルの算数・数学の難問に挑戦したいという意欲のある精鋭のクラブ員を対象に支援する講座です。参加の条件は、**令和5年6月11日(日)午後に行われる『算数オリムピクトライアル地方大会』を受検すること(必須)**です。支援講座は新しい学年からの参加も可能です。上記①と同じように算数オリンピック継続・入退会サイトの申し込みメールが届きますので、12月20日(火)から1月24日(火)に、継続する人も継続しない人も**中学3年生以外全員送信して提出**してください。
上記①及び②の手続きは開設期間であれば、財団ホームページから直接申し込みサイトに入れます。なるべく早い時期に意思の決定をお知らせくださるようお願いいたします。
- 第2回目の**思考力検定**は2月25日(土)10時からです。希望者は検定料を持参して長土塀青少年交流センター3階財団事務局松原まで直接申し込みにお越しください。12月から受付を始めています。最終締め切りは1月21日(土)です。原則平日の火曜日から金曜日の朝9時から午後3時半まで受け付けます。締め切り以降は受け付けませんので、ご注意ください。受検級の目安は以下の通りです。

受検級	受検級の目安	実施時間	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級
	中学3年程度	60分	3級 中学3年程度 60分	4級 中学2年程度 60分	5級 中学1年程度 60分	6級 小学6年程度 50分	7級 小学5年程度 50分	8級 小学4年程度 45分	9級 小学3年程度 45分	10級 小学1~2年程度 45分

検定料は、3級:3000円、4級:2500円、5~10級:2100円です。お釣りのないよう。

*11月の思考力検定は例年よりもとても難しい問題が出されたのですが、合格者が31名出ました。合格した皆さん、おめでとうございます。みなさん、次も頑張りましょう。